

資料室ニュース

2022年11月号

編集・発行：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）

購入図書（2022年9～10月分）

・外国人差別の現場

（朝日新聞出版 著・文：安田浩一・安田菜津紀 P296）：935円

【内容】

病死、餓死、自殺……入管での過酷な実態。ネット上にあふれる差別・偏見・陰謀。日本は、外国人を社会の一員として認識したことがあったのか——。「合法」として追い詰め、「犯罪者扱い」してきた外国人政策の歴史。無知と無理解がもたらすヘイトの現状に迫る。

・部落の私たちがリモートで好き勝手にしゃべってみた。

（解放出版社 編：部落解放・人権研究所 著：上川多実・武田緑・藤本真帆・三木幸美・本江優子 P100）：1,650円

【内容】

各地で、さまざまな立場や形で部落問題の解決に向けて取り組む、次代を担う5名のざっくばらんな「おしゃべり」を通して、「部落問題の今」を知ることができる内容です。部落問題の入門書としても最適の書です。



・「とりあえずビール。」で、不登校を解決する

お父さんといっしょに考えたい不登校のはなし

(びんずネット 著：蓑田雅之 P148)：1,430円

【内容】

「お父さんが不登校を許してくれない」

「夫を説得するためには、どうすればいいんでしょう？」

著者の蓑田さんが不登校の親の会やセミナーで出会ったお母さんからの切実な声を受けて書かれたのがこの本です。

「お父さんに向けた、お父さんのための、お父さんが書いた不登校の本」は、おそらく本書が初めてではないでしょうか。

「はい、これ、読んでみて」

とお父さんに手渡すだけで効果のあるものにしたいと意識して書いた、という蓑田さん。

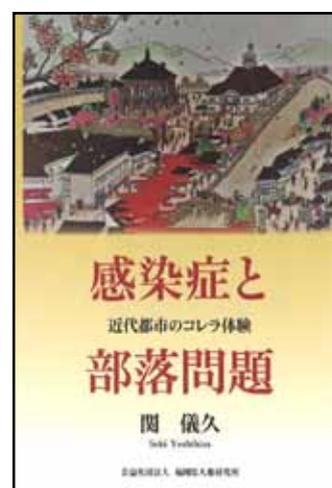
お父さんの気持ちになって、どのように父親は不登校のことを考え、対処していけばいいかということに的を絞って書かれているのが本書の特長です。(「びんずネット」HPより抜粋)

・感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験

(福岡県人権研究所 著：関 儀久 P244)：3,300円

【内容】

姿を変えて鏡を見れば、見慣れぬ姿が映し出されるように、わたしたちの日常が変われば、見慣れぬ歴史が姿をあらわす。多くの人々が「コロナ差別」に関心を抱くいまだからこそ、私は感染症対策と部落問題のかかわりを歴史の鏡に映し出したいと思う。(「序」より抜粋)



資料室の利用方法

図書の貸出は1回につき原則3週間、5冊までです。期限は厳守してください。

貸出カードに名前、住所をご記入ください。電話、FAX、メールでも受け付けています。連絡便での貸出・返却が可能です。貸出中の場合はご了承ください。

〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7

TEL：06-6841-5300 FAX：06-6841-6655 mail:bwz37306@nifty.com

